

令和5年度 第5回「一ノ宮地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年8月1日（火） 19：30～20：30

場 所：一ノ宮公民館

参加団体等：一寿会、白山町女性会、八幡町婦人会、中島町婦人会、三宮町婦人会、南消防団一ノ宮分団、獅子吼花の会、一ノ宮桜の郷友の会、各町内会長、白山市町会連合会理事、公民館館長ほか

発言【1】

- (1) 子どもたちが学校で毎日使用する下敷きに、ジオパークの魅力をイラストで紹介し、裏面に市民憲章、市の花・木・鳥を掲載して、子どもたちに配布し、ジオパークと市民憲章の周知・PRに生かしてはどうか。
- (2) 市が主催する数多くの大会で、パンフレット・資料に、市民憲章を掲載し、大会が始まる前に出席者全員で市民憲章を唱和してはどうか。
- (3) 市の花・アサガオの種を、全家庭に配布し、市民としての一体感の醸成に努めてはどうか。
- (4) 木彫りの獅子として日本一の大きさの夫婦の獅子頭を獅子ワールド館の外に出し、白山市のPRに役立ててはどうか。

【市】

- (1) 学校の教育活動の様々な場面で、白山手取川ジオパークの学習に積極的に取り組んでいます。ジオパーク遠足や合宿などの体験、地域の学習資源や人材を活用した授業などを通してジオパークについて理解を深めており、今後もより一層の周知に努めてまいります。

また、市では12月の人権週間に合わせ「白山市子ども憲章」の周知を行っており、「市民憲章」に関しましては、中学2年生の立志式にて、代表が音読をしています。市の花・木・鳥の紹介は社会科資料集「わたしたちの白山市」や「イラストでみる白山市のようす」など子どもたちが使用する教材に紹介をしています。今後もより一層の周知に努めてまいります。

- (2) 市民がふるさとへの愛着と誇りを持ち、一体感の醸成を図ることが求められているなか、市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、各種大会やイベント等において市民憲章の周知・PRに努めてまいります。
- (3) アサガオの種の全家庭配布というのは、種の確保等様々な問題が考えられ、

実現は難しいと思われませんが、毎年6月に「道の駅めぐみ白山」にて、アサガオの苗の無料配布などをして、市の花のPRを行っています。

また、「千代女あさがおまつり」を開催し、松任総合運動公園や松任駅南広場などで展示し、広報紙や新聞、ホームページ等で広く周知しております。

- (4) 希少伝統的工芸品として「加賀獅子頭」を市内外にPRしていくことは、本市としても重要であると認識しています。夫婦の大獅子頭を獅子ワールド館から外へ運搬することは困難であり、館へ足を運んでもらう方が現実的であると考えられます。

8月11日に羽田空港国際ターミナルと直結する羽田エアポートガーデンにて、獅子頭の製作と獅子舞演舞を披露PRする機会がありました。

また、今年は石川県で開催される「いしかわ百万石文化祭」の中で、11月18日、19日に「白山市の伝統工芸展」として、獅子舞演舞や加賀獅子頭の展示と体験会を予定しております。

今後も様々な方法でPRしていきたいと考えております。

発言【2】

- (1) 白山手取川ジオパークを、今後どのような形で生かしていくのか。観光面に力を入れていくのではないかと思うが、旧石川総線を生かす方法はないか考えてもらいたい。観光鉄道・観光列車・トロッコ列車を走らせ、一の宮駅から、かつての線路を利用して白山下駅まで通せば、いい形でジオパークの観光や見学ができると思う。
- (2) 旧鶴来以南、白山麓の遊休農地・耕作放棄地を開発して、小さな食品団地・鉄鋼団地・工業団地を計画できないか。

【市】

- (1) 旧石川総線（＝旧北陸鉄道金明線）の廃線敷は、旧加賀一の宮駅から道の駅瀬女までを走る自転車専用道路「手取キャニオンロード」として整備されており、新たに鉄道を走らせるのは困難です。
- 北陸鉄道石川線の「サイクルトレイン」で運んだ自分の自転車や白山市観光連盟のレンタサイクルを活用して、「手取キャニオンロード」をサイクリングしながら多彩なジオパークスポット等のポイントに立ち寄って観光を楽しんでいただきたいと考えております。
- (2) 鶴来地域の都市計画区域内については、マスタープランに位置付け、市街化区域に編入することで、工業団地等の開発は可能となりますが、工業用地として開発を行う場所については、全市的に十分な議論が必要となります。

白山ろく地域は市として開発が困難ですが、都市計画区域外でもあることから、農地利用の問題を解消した上で、民間活力を用いる等、必要に応じ開発を検討してほしいと思います。

発言【3】

- (1) 舟岡山の城跡を国の史跡にしてほしい。平成24年11月議会で、十分な史跡の価値があり、来年度には測量、発掘調査を実施し、国の史跡を目指すと言った。その後、市の動向はどうなっているのか。
- (2) 高島石見守が、金沢城とそっくりな石垣をつくった。平成16年に調査した際には、かなり盛り上がったが、今はどうなのか。

【市】

- (1) 舟岡山の城跡は、平成25年度から平成29年度まで5年間をかけて測量・発掘調査を実施し、史跡の文化財的価値を明らかにすることができました。令和元年度より国史跡指定への手続きにとりかかろうとしましたが、既に指定されている東大寺領横江荘遺跡と鳥越城跡附二曲城跡の整備をまず優先するよう文化庁・石川県教育委員会から指導を受けたため、指定事務を中断しております。
- (2) 戦国時代のものとしては県下有数の規模を誇る石垣が、現在も良好に残されています。地域の方や地権者との連携を図り、市指定史跡として発信を検討したいと思います。

発言【4】

- (1) 白山町は、土砂災害警戒区域になっている。令和5年度の事業の中に、「人作谷川」の補修をぜひ加えてほしい。「人作谷川」と「桂谷川」の上流が、昨年の災害の状態のまま、手つかずになっている。できれば、早急に補修してほしい。
- (2) 一ノ宮保育所の建物を、市はどうするのか。

【市】

- (1) 林道における災害復旧事業については、順次、復旧スケジュールに基づき実施することとしています。「林道人作谷線」、「林道桂谷線」においても、順次、復旧を進めることとしており、令和6年度中を目途に工事完了を目指しているところです。

なお、両谷川（砂防指定地）の災害再発防止、原因排除の観点から、被災箇所上流に砂防堰堤が必要であると考えられることから、今後、県に対し要望していきたいと考えております。

- (2) 現在は保育関係の備品の保管に使用しております。活用方法については今後、

検討したいと思います。

発言【5】

- (1) 人口が増えない状況ではどうしようもないが、店が近くにあったら生活しやすい。車に乗り出掛けなくても生活できるようになってほしい。コミュニティ全体として、住みやすい雰囲気や鶴来から山麓を開発できたらいいと思う。
- (2) 住んでいて一番不自由なのは、病院が近くにないこと。

【市】

- (1) 人口の社会動態を見ると白山ろく地域から平野部への移動が見られます。ご意見にあるように生活しやすい場所へ転居している状況です。雇用の場としての企業や、商業施設の誘致については、輸送や従業員の確保、購買力などのコスト面から、開発等は難しいと思われま

す。しかし、鶴来地域では、鶴来商工会が中心となり、空き家や空き店舗を活用した起業支援を行っており、若い経営者が増えるなど成果を上げています。市としては、今の生活基盤を維持しながら市外への転出を防ぐ施策を進めております。

また、人口が増えない状況で、今、取り組んでいるのは、定住人口ではなく、関係人口を増やすことです。白峰地区にある東京大学のサテライトでは、毎日のように大学生が白峰で色々な活動をしています。

市域全体が世界ジオパークであり、白峰地域以外にも、鳥越地域の河原山町など、学習のフィールドとして活用してもらい関係人口としての賑わいを増やすことが現実的です。

そして、金沢工業大学、金沢大学、金城大学、かなざわ食マネジメント専門職大学など高等教育機関をはじめ、企業、郷土会によるふるさと納税の活用など、地域支援も期待できます。

- (2) 総合病院の設置は県の医療計画に基づいており、現状では新たな病院を設置することは難しいです。

また、個人の医院・クリニック等についても、誘致は民間の動向に依存するところが大きく、行政が積極的に行うことは難しいと考えます。鶴来地域では公立つるぎ病院をはじめ、個人病院や複数の医院が診療を行っておりますので、そちらのご利用をお願いしたいと思います。

発言【6】

- (1) 獅子吼のゴンドラが運行するのは、いつも5月連休からで終わるのも、まだ紅葉が残っている10月末までである。ゴンドラの運行を3月から11月末にしてはどうか。
- (2) ゴンドラの営業開始が10時だと、時間が無くて利用できない人がかなり居る。パラグライダー体験もしたいのに、皆、諦めて帰る。営業時間を1時間早くできないか。
- (3) 白山の登山客が、今年すごく増えていて、特に外国人が多い。マナーが悪くごみのポイ捨てをしていく。白山のごみ問題を考えてほしい。

【市】

- (1) 営業期間については、例年4月第3土曜より11月23日まで運行しております。営業開始前に除雪（林道・山頂施設）作業や施設点検整備（電気設備・ゴンドラリフト）に2～3週間、営業終了後も11月下旬の降雪前に越冬準備期間が1週間は必要となりますので、現在の営業期間となります。
- (2) ゴンドラリフト運行開始前に設備安全点検や営業準備に時間を要することから、営業開始時間が午前10時となっております。
今後、営業時間の拡大について、効果及び対応方法を研究してまいります。
- (3) 白山国立公園を管理する環境省中部地方環境事務所や県担当課と連携しながら、市ノ瀬ビジターセンターをはじめ、別当出合駐車場やシャトルバスの中で、マナーを啓発するポスターの設置等をして、周知を図っていきたいと思います。